

KG JOURNAL

関西学院通信 [関学ジャーナル]



特集 *Special* 先輩に学ぶ 「私の就職活動」

世界市民を育む、学びがある。

数字でみる関学
コモンズの利用頻度
突撃! KG CLUB
体育会 ゴルフ部

2017.5.15
255号



学長のポケット

就職活動は未来志向で

就職活動がいよいよ本格化してくる時期になりました。4年生の皆さんは、「思い通りのところに就職ができるだろうか」「自分に向けた職種や企業はどこだろうか」等々、不安でいっぱいの日々を過ごしていることと思います。

就職活動において、準備しておく答えはたった二つです。一つは「なぜ、わが社やこの団体に働きたいのですか」という問いに対する答えであり、もう一つは「あなたはどんな人間ですか」という質問への答えです。

前者は、業界研究や企業研究等を徹底的にやれば必ず答えが見えてきます。皆さんが志望するような企業や団体であれば、必ずや社是等において社会への貢献を謳っています。そのような企業や団体であれば、徹底的に研究するうちに、その長所や良さが見えてきますし、より関心を持つようになります。

より重要なのは、「あなたはどんな人間ですか」という問いへの答えです。この質問に対する答えは決して自己分析によって求まるものではありません。なぜなら、自己分析は過去や現在の自分についての考察だからです。企業や社会が求めているのは、皆さんが「これからの人生をどのように生きていこうとしているのか」という問いであり、未来を志向した問いかけだと理解してください。つまり、皆さんが自分の人生を含め、自分の理想とするどのような社会を築いていきたいと考えているのか、そして、その理想像の中に、それぞれの企業や団体に働くことをどのように位置づけているのか、が問われています。

皆さんの人生の夢や目標は決して就職ではないはず。就職は通過点にしすぎません。世界や社会への貢献や変革などを含め、これまでの人生で培ってきた自分自身の夢や高い志があると思います。この高い志や将来の夢に照らし合わせて、自分に合った企業や団体を考えていくことが、就職活動にとって遠回りのようですが、近道であり王道であると考えます。皆さんの健闘を祈ります。

(学長・村田 治)

表紙へ

都市研究会
内山 萌果さん
総合政策学部3年生



「都市を考え、まちを歩く」をモットーに建築、都市計画について学ぶ学生団体「都市研究会」のメンバーが、学生をターゲットに三田市の飲食店を紹介する冊子「ワタン×三田」を4月に発行した。内山さんはこの企画チームのリーダーを務めた。

昨年5月のミーティングで、「三田で学んでいるのだから、三田に関する活動をしよう」と話を切り出した。「三田にいるのに三田のことをあまり知らず、もっと知りたいと思った。他の学生も同じ気持ちなのは」と考えたからだ。「ただ紹介するだけでは他の情報誌と変わらない」と、「学生視点」にこだわり、紹介する店は学生が行きやすいカフェ、レストラン、ラーメン店に絞った。紹介ページには「サイフにやさしい」とか「ガッツリ食べら

れる」といった学生の気になるポイントが一目で分かるマークを入れるなど、工夫が施されている。「お店の方が三田の地に強い思いを持っておられることや、学生を気にかけていただいていることが取材を通じて伝わってきました」と活動を振り返る。

冊子は、神戸三田キャンパス内の食堂に置くなど、合計2000部を配る。「たくさんの人に読んでもらって、三田に遊びに出掛ける学生が増えたらうれしいです」と笑顔を見せる。



KG JOURNAL

関西学院通信 [関学ジャーナル]

CONTENTS

No. 255

- 1 学長のポケット
表紙人
- 2 特集
世界市民を育む、学びがある。
先輩に学ぶ「私の就職活動」
- 9 特集2
西宮聖和キャンパスに
ラーニングcommons「リブラ」誕生!
- 11 ひととひと
- 13 Research & Research
人間福祉学部 藤井 美和ゼミ
理工学部 吉川 浩史研究室
- 15 突撃! KG CLUB
体育会 ゴルフ部
- 17 My favorite KG
ホセ ダビ ボーデン スベルピさん
(ドミニカ共和国)
GO GLOBAL!
杉山 陽子さん(経済学部3年生)
- 18 数字でみる関学
commonsの利用頻度
- 19 Campus News
関学カプセル
KGグルメ
学院通信
- 24 世界の街角から
アメリカ 野口 寛士さん
- 25 Libraring
西宮聖和キャンパス図書館の
開館日時拡大!
- 26 聖書に聞く
経済学部宗教主事 舟木 譲

特集 Special

世界市民を育む、学びがある。

先輩に学ぶ 「私の就職活動」

日本経済団体連合会(経団連)が2015年に発表した「採用選考に関する指針」の改定により、企業の選考活動の開始が6月に変更されました。4年生、M2年生はいよいよ採用試験本番に突入します。就職活動ラストスパートに向けて良い準備ができるよう、2017年3月卒業の先輩に心構えや体験談、キャリアセンターの活用術などを語ってもらいました。また、就職活動の事前準備を始める3年生、M1年生には、年々重要度を増しているインターンシップについて詳しく紹介します。



先輩に
聞く

就職活動の

7

項目

ココがポイント!

学業との両立、筆記試験や面接の対策、U・
ターン就職の心構えなど、就職活動に関
する七つの項目について、今春卒業・就職し
たOB・OGに体験談や注意点、成功のポ
イントなどを聞きました。

1

上島 三貴子さん
(2017年商学部卒)

キッコーマン株式会社
【志望理由】



スローガンの「おいしい記憶をつくりたい。」に共感しました。調味料の中でも和洋中を扱える商品幅があり、日本と世界の食卓をさまざまな方向から彩り、提案できるのはキッコーマンしかないと感じました。化学調味料無添加のため、子どもからお年寄りの方々まで自信を持って提案できるということも大きなポイントでした。

2/4

丸山 伶介さん
(2017年社会学部卒)

双日株式会社
【志望理由】



モノやブランドに頼らず、海外で自分の名前や力で活躍したいと考えており、世界中で人材や手段を選ばず時代に合わせた商いを創れることに魅力を感じ、総合商社を目指しました。双日に決めた理由は、ジョブローテーション制度を採用していたこと、インターンシップや社員訪問で出会った社員の人たちが働きたい、この人たちのようになりたいと思ったからです。

3/5

斎藤 佑介さん
(2017年商学部卒)

株式会社九電工
【志望理由】



地元の九州に大きく貢献できる企業であること、人々の生活の基盤を支え快適な生活を送るために欠かせない配電、電気、空調事業をしていることに魅力を感じました。また、仕事を通じて社会に貢献すると同時に、人として成長したいと考えていたので、チャレンジ精神あふれる社風に引かれ、九電工で自分を鍛えたいと思いました。

6

大西 裕子さん
(2017年理工学研究科修)

杏林製薬株式会社
【志望理由】



最初から研究職を志望していましたが、採用人数が限られているため、内定をいただいた会社に行くつもりで就職活動をしていました。最終的には杏林製薬が得意としている疾患領域と私の研究領域がマッチしたことで、自分の強みを生かせる社風だと思ったため入社を決めました。

7

福井 悠真さん
(2017年法学部卒業)

京都市役所
【志望理由】



京都で生まれ育ったので、京都の人が地元で愛着を持って、住みやすく楽しく過ごせるまちづくりをしているのを見られました。そのような「雰囲気」や「文化」が好きで、京都市、京都市民のために働きたいと思いました。また、業務が幅広いため、さまざまな経験を通して社会人として成長できると感じ、志望しました。

1

面接 & グループディスカッション

面接で大切なことは、相手の目を見て、ハキハキと笑顔で話すこと、結論から話すことです。質問に対する自分の考えや答えを話すまでの前ふりが長くなってしまうと、肝心の伝えたい部分が伝わりません。私は、さまざまな質問に対して結論から話す練習をして、その癖を付けるようにしました。しかし、つつい話が長くなりすぎることもあると思います。その場合は、「長くなってしまいました。私がお伝えしなかったことは〇〇です」と最後に要点をもう一度話すようにしていました。答えに悩んでしまう質問に対しては、「少し時間をください」と言って、自分の考えを整理してから話し始めるようにしました。

グループディスカッションでは、結論や目標に導くために貢献することを念頭に置いていました。チームの一員として周り協力して貢献できるかを見られていると考えたからです。選考前にメンバーに話し掛けて良い雰囲気をつくり、ディスカッションでは場面に応じて「結論を話す役」「他人の意見に賛同する役」「議論がそれた時に元に戻す役」をしていました。また、自分と異なる意見に対しては、すぐに否定はせず、一度その意見を受け止めるように心掛けていました。

就職活動では、「他人と差別化をしなくてはいけません。しかし、これまで経験してきたことは、世界で唯一あなただけが経験したものです。それこそが一番の差別化だと思います。自分を信じて頑張ってください。」



上島さん

キャリアセンターから

採用担当者は、短い時間で就職活動生についてできるだけ多くのことを知りたいと考えています。「選考される立場」ではなく、「自分を知ってもらうチャンス」と考えて、明るく誠実に挑み、自分の言葉で話すことを心掛けましょう。キャリアセンターが実施する個人面接や面接トレーニングを利用して対策を進めましょう。個人面談は1日1回40分、経験豊富なキャリアセンタースタッフと1対1で行います。履歴書やエントリーシートの相談や面接練習を中心に、就職活動に関することなら何でも相談できます。面接トレーニングでは集団面接やグループディスカッションの対策をすることができます。個人面談・面接トレーニングはいずれも教学Webサービス「キャリア」タブ内「KGキャリアナビ」から予約してください。



面接選考は企業が最も重要視している採用選考プロセスです。中でもグループディスカッションは選考の初期段階で実施する企業が増えています。討論のテーマには、その企業の新商品の提案や業界展望、時事問題から多く出題されています。発言内容だけでなく、議論への参加姿勢や他人の話を聞く姿勢も評価対象になります。

自己PRは端的に1分程度でまとめることをお勧めします。思いが強いとたくさん話しがちになります。一方的な話はよく思われない可能性があります。気になることがあれば面接官から質問してもらえるので、あえて詳しい説明をしないなどの工夫をしていました。

自己分析に当たって、私は「自分史」を作成しました。クラブや留学、ゼミ活動など、生まれてからこれまでの人生で経験した印象的な出来事について書き出しました。その中で自分が力を入れていたことや、集団での役割、その時の思いや感情を整理しました。そうすると、さまざまな自分の姿が見えてきますが、PRする内容は一つに絞るようにしていました。限られた時間の中で複数の話をする、面接官の印象が薄れてしまう可能性があるからです。また、エントリーシートなどに書いている内容と一貫性があるようにも気を付けました。

私は、あまり話すのがうまくなく、緊張すると話すことが飛んでしまうと思っていたので、友人に面接官役をしてもらったり、話す内容が自然と口から出るまで練習をしたりと、事前準備に力を入れました。自分に合った準備をして本番に臨んでください。



齋藤さん

キャリアセンターから

企業側は採用において、「優秀かどうか」ではなく「自社で成果を出すための能力や適性を備えているか」を評価基準とします。その評価基準を基に、人間性を知るため、過去の行動を掘り下げる質問をします。学生側は能力や適性を明示するために、自己分析をしっかりとっておいてください。同時に、各業界や企業で求められる能力が何かを把握し、自分の能力や適性をどう生かせるかを明確にしておきましょう。またエントリーシートや面接で「偽りの自分」を表現して、背伸びをしようとする人がいます。飾り立てることなくありのままの自分をアピールすることが、本来の自分の魅力を伝える重要なポイントです。

3 自己PR

エントリーシートや面接選考の多くで問われる項目で、企業は学生の強みや独自性、根本的な考え方を評価します。「これだけは誰にも負けないというものは?」「長所と短所は?」「大切にしている価値観は?」「あなたを表すキャッチフレーズを教えてください」など質問は多様です。うまく伝えることができれば、確実にプラスになります。

全てに共通することですが、やはり筆記試験、WEB試験も準備が大切です。私は、早い段階で市販のSPI対策本を何度も解いて、キャリアセンターが提供しているSMARTSPIを直前までやりこみました。偏差値を知ることができるので非常に便利でした。実際の試験でもSMARTSPIで出題されるものと似たような問題が多かったです。本番は時間も限られていて焦ることもあると思います。ミスをする時間もかかってしまうので、素早く正確に問題が解けるよう何度もやりこむことをお勧めします。

私は商社を中心に受けていたので、英語と構造把握の問題が多く出されました。英語は一般的な英語試験と同じくらいのレベルでしたが、構造把握の問題には慣れが必要でした。自分が受ける業界がどのような問題を出題する傾向にあるのかを知っておくことも重要です。

筆記試験、WEB試験は必ず通るように準備をしてください。エントリーシートの作成に力を入れて、社員訪問を重ねたのに、試験の点数が足りなくて不合格となるのはもったいないです。自分が受けようと考えている企業や業界の試験の難易度と、自分のレベルを客観的に見て、正確な判断をしてテスト対策をするようにしましょう。



丸山さん

キャリアセンターから

筆記試験は高度な学力を試すものではなく、「意欲があり、事前準備が計画的にできる人物か」を測るためのテストです。多くの人が苦手と感じる非言語分野は小学校高学年レベルの計算問題が主であり、解き方のコツを知っていれば対応できます。本気でその企業を目指している姿勢の証明にもなります。万全の対策をして試験に臨みましょう。また「KGキャリアナビ」の企業検索から、「先輩活動体験記」を活用しましょう。ここでは、先輩が過去に選考を受けた企業の選考内容や後輩学生へのメッセージ等を見ることができます。



2 筆記試験 & WEB試験

小学校高学年から中学校レベルの内容が多く、限られた時間内でより多くの問題を確実に解答することが求められます。企業ごとの過去の出題実績を事前に調べ、新聞やテレビで時事問題対策をしておくことも効果的です。

本 命企業・業界の志望動機に説得力を持たせるためにも視野を広げることは重要です。なぜその業界のその企業で働きたいのかを明確にするためには、それぞれの業界の役割や一個人の仕事内容を把握することが大切です。

私は、インターンシップや社員訪問、説明会を活用することで視野を広げました。メガバンクと総合商社を志望していたため、3年生の夏にメガバンク、冬に総合商社のインターンシップに参加しました。並行して、学内企業説明会に参加して各業界について勉強し、積極的に社員訪問もしました。たくさん「働く大人」と知り合って話をすることで、各企業で働く人の魅力を知ることができました。何をやるのかは大切ですが、誰と仕事をするのかも大切です。視野を広げて就職活動をするので、どういう人たちと、誰のために何をしている自分が幸せだと思えるのかをしっかりと考えることができました。

いろいろな業界を見たおかげで、長い目で人生を考えてエントリーすることができました。その企業にエントリーする、しないは別にして、積極的にいろいろな業界を調べ、視野を広げることで、後悔のない就職活動をしてください。



丸山さん

キャリアセンターから

客観的な情報源として大学図書館ホームページ「Webデータベース」内の「新聞記事を探す」や「企業情報を探す」などが業界研究に活用できます。



ここでは、新聞や雑誌の記事情報から企業、業界、ビジネスパーソンの人事情報などが閲覧可能です。就職情報サイトには掲載されていない企業もカバーされており、各企業の財務状況、IR情報、海外進出情報なども収集できます。また「学内企業説明会」や「KGキャリアナビ」では、「関学生を採用したい」と考える多くの企業の情報を得られます。キャリアセンターで貸し出し、もしくは市販されている「業界地図」と呼ばれる書籍を活用することも有効な方法です。

Webデータベース内のオススメ!

新聞記事を探す

日経テレコン21

過去30年分の新聞や雑誌記事から国内外の企業のビジネス情報を収録。

企業情報を探す

東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー

「週刊東洋経済」「会社四季報」「就職四季報」など主要コンテンツや企業データを収録。優良企業を発見するためのサポート機能もあります。

希望する業界に集中することは重要ですが、その業界のみに固執しすぎるのはリスクが高くなります。採用選考開始の前にもう一度活動状況を見直し、業界や企業を広く見てみることをお勧めします。

家 族や親戚が住んでおり、交流も多く愛着があり、長年暮らした街に恩返しをしたいという強い思いから、将来は地元、福岡に根付いた企業に就職したいと考えていました。

地元就職で注意したいことは2点あります。一つは、距離的な問題から情報収集が難しいことです。特に先輩訪問では九州で働く先輩を見つけることに苦労しました。私の場合は、高校の同窓会など地元のネットワークを利用することで、情報収集を行いました。もう一つ気を付けておきたいのは、関西と地元の移動です。地元企業の多くは関西でも面接をしていますが、私は地元への思いをアピールしたいと考え、福岡で面接を受けていました。ゼミ活動と就職活動の両立のため、行ったり来たりを繰り返し金銭的にも体力的にも大変でした。地元就職を考えている方は、早めの単位取得を強くお勧めします。

地元の企業の面接でも、基本的には志望動機、自己PR、頑張ったこと、自分の強み・弱みをよく聞かれました。エントリーシートの内容も聞かれることが多いので、深く聞かれそうなところを予測して答えを用意しておくなどの工夫をしました。就職活動は大変なこと多いですが、成長を感じることができ、楽しむもありました。頑張りすぎて途中で動けなくなることはないよう、リフレッシュしながら取り組んでください。



斎藤さん

キャリアセンターから

U・インターン就職に際して、「その土地で働きたい」「地元に着用がある」ということを志望動機に考えている人が多く見受けられますが、それだけでは不十分です。その企業で何がしたいのか、どのようにその土地や企業に貢献できるのかという視点を忘れないようにしましょう。また、企業の採用スケジュールが地域によって異なることもありますので採用時期を把握しておくことや、地元の求人情報の入手方法を確認しておくことも大切です。意識して情報収集するようにしましょう。



出身県あるいはその近隣地域に戻って就職することを「U・ターン就職」、地元ではない特定の地域で就職することを「I・ターン就職」と言います。就職活動をしていると東京や大阪等の都市圏に目が向きがちですが、地方にも視野を広げることでより多くの優良企業と出会うことができ、自分らしい働き方を見つけるきっかけになります。ぜひ幅広い視野を持つよう心掛けましょう!

公務員を目指す場合、やはり筆記試験に苦
勞する人が多いと思います。試験科目が非
常に多く、大学の授業や研究と両立することが難し
いため、試験対策などのスケジュールをうまく立てる
ことが大切になります。私は得意な科目を長時間やる
よりも、苦手な科目や分野に時間を割き、合格とい
う結果から逆算をして効率の良いスケジュールを
立てることを意識していました。電車に乗っているとき
などの隙間時間も有効活用しました。

公務員試験の場合、面接の話のネタとしてエン
トリーシートを書かせている場合が多くあります。面
接ではエントリーシートに基づき、自分がどうい
う人間なのかを伝えること、自分らしくあること、熱意を伝
えることを意識しました。周りの意見を聞きすぎると、
自分らしさを失う可能性があります。自分の経験や
性格に自信を持って、自分の言葉で伝えることが大
切です。

公務員試験は民間企業よりも内定が出る時期
が遅く、長期戦のため、モチベーションの維持が難
しく焦ってしまうかもしれません。そういう時は、なぜ公
務員を目指したのか、自分が目指す未来はどのよう
なものを思い出し、諦めずに自分を信じて頑張っ
てください。



福井さん

キャリアセンターから

近年は筆記試験に合格しても、面接選考で不
合格となるケースが多く見られます。公務員の採用
現場でも、民間企業と同様に従来の筆記試験重
視から人物重視へシフトしており、面接の他にグ
ループワークや集団面接などを課す選考もありま
す。キャリアセンターの個人面談や面接トレーニ
ングなどを活用し、万全の準備を整えましょう。また、
近年は専門試験（いわゆる公務員試験）を課さな
い採用を実施する自治体が増えてきています。民
間企業を中心に就職活動をしている学生でも、公
務員になるチャンスは十分にありますので、公務員
に興味がある方はぜひ確認してみてください。

7

公務員の就職活動

公務員を目指す場合、「安定しているから」という安易な理由では通用しません。社会が抱える複雑な問題に対処していくため、自分の能力や特徴を生かし、社会にどう貢献できるかという視点を忘れず、多岐にわたる公務員の職種の中から進路を選択してください。また2015年度から国家公務員総合職の採用制度が変更され、それに伴い各地方自治体の採用試験制度も随時見直されています。自分の目指す省庁や自治体、官公庁の最新の採用試験情報を必ず収集しましょう。

6

理工系の就職活動

就職活動で苦勞したのは、研究との両立で
す。5月に研究の中間発表があったのですが、
就職活動が本格的にスタートした3月以降は、研究
室に行って研究をすることはほとんどありませんで
した。しかし、3月までにできる限り研究を進めて必要
なデータをためていたため、就職活動が本格的に始
まった後は、データをまとめることに集中しました。早
くから準備をしていたことで、うまく乗り切ることが
できました。

企業によっては、自分の研究を一枚の紙にまとめる
という課題がありました。文章作成が苦手だったた
め、そうした課題やエントリーシートの作成にも苦
勞しました。早めに自分で文章を作成し、週1回はキャ
リアセンターに行ってアドバイスをもらいました。最初
は書き方が全く分からなかったのですが、相談を重ね、
納得のいくエントリーシートを作成することができま
した。文章の作成に自信がない人には、キャリアセン
ターの個人面談の活用を勧めたいと思います。

面接選考では、必ずと言っていいほど研究につ
いて聞かれます。5分間で研究内容についてプレゼン
テーションすることもありました。専門用語を使いすぎ
ないことや、研究の背景ばかり話すのではなく、研究
についての自分の考えを多く話せるように工夫しま
した。もちろん、面接は相手との会話ですので、常に
こやかにハキハキと話すことも掛けました。



大西さん

キャリアセンターから

変化が激しい現代社会では、今持っている知識や
技術はすぐに古いものになってしまいます。そのた
め、現在有している知識や技術が優れているとい
うだけでなく、課題発見力、解決能力を備え、早い
変化に柔軟に対応し、常に新たな知識や技術を
吸収できる学生が求められています。また職種を
問わず、コミュニケーション能力はとても重要で
す。技術系職種であってもチームで働くことに変わ
りはないので、面接ではコミュニケーション能力が重
視されることを意識しましょう。進路選択や就職活
動で悩んだら、遠慮なく各学科の就職委員の教員
やキャリアセンターに相談してください。

理工系学生は「事務系総合職」「技術系総合職」の両方を選択できるので、職種を選べるチャンスがあります。理工系学生だからこそ、これまでに身に付けた知識、研究内容を極力生かせるような進路選択を考えてみてください。

インターンシップに参加して 将来のキャリアを考えよう!

就職活動におけるインターンシップの重要度は年々増えています。インターンシップに参加することで、企業や社会の仕組み、仕事の意味、社会人としての考え方やマナーなどを現場で学ぶことができ、働いている人と同じ視点で業務に関わることで、社会人としての今後の課題や自分の強みを知ることができます。インターンシップを通して多くの社会人の方々と出会い、それぞれの働き方や生き方を感じ取ることは、今後の人生を考えるきっかけにもなります。多くの企業は、夏(8月～9月ごろ)と冬(1月～2月ごろ)にインターンシップを実施します。まずはこの夏、就職活動の事前準備としてインターンシップに参加してみましょう。

インターンシップとは

インターンシップの内容は企業によってさまざまですが、おおむね以下のような内容に分類されます(いくつかが組み合わさってプログラムが構成されており、どれか一つだけで終わるというものではありません)。

講義

業界の知識や企業の仕組み、ビジネスマナーなどをテーマにした研修室での講義です。職場実習などで必要な知識を教えていただく機会ですので、講義の意味を考えながら、自分なりの目的を持って積極的に受講することが大切です。

グループワーク

学生同士で少人数のグループになってさまざまな課題に取り組み演習です。講義とセットになり、講義で学んだことが身に付いているかを確認する機会が多いようです。初対面の学生同士で緊張するかもしれませんが、自分から働きかける力が求められます。もし打ち解け合ったとしても、一定の緊張感を持って最後までやり抜く姿勢を持ちましょう。

職場見学・仕事体験

実際のオフィスや工場に向かい、仕事を見学したり、簡単な作業の一部を体験したりする実践的なプログラムです。会議への参加、営業の同行、展示会などの外部イベントの見学と手伝いなどがあります。社員の方から受けた指示はメモを取るなりして、テキパキと動けるようにしましょう。

プロジェクト

任された仕事・課題をインターンシップ期間中に遂行するものです。少人数の学生グループで取り組むこともあれば、一人で任されることもあります。やりがいがあり、終えた時の達成感は大いですが、その分、プレッシャーもあります。まさに社会人としての活躍を先取りするインターンシップといえるでしょう。

KG枠インターンシップ

KG枠インターンシップは、関西学院大学の学生を対象に参加枠をいただいている企業・団体へのインターンシップです。インターンシップによっては、一般公募はされていないものや、特別に関学生対象に実施されているものもあります。

企業・団体によって、対象学生、実施期間、実施内容はさまざまですが、実習期間は大きく8・9月と2・3月の二つに分けられます。詳細は募集要項にて発表します。KG枠インターンシップには誰でも応募可能です(選考結果によっては参加枠があっても派遣されない場合があります)。

◆募集要項

KG枠インターンシップの詳細は、「KGキャリアナビ」に掲載する「KG枠インターンシップ募集要項」でお知らせします。選考方法、実習スケジュール、対象学年、実施内容等、詳細は企業・団体によってさまざまのため、募集要項で確認してください。

◆2017年度募集スケジュール

	夏季インターンシップ(8-9月)	春季インターンシップ(2-3月)
募集要項公開予定	1期: 5月初旬 2期: 5月下旬 3期: 6月下旬	1期: 11月中旬 公開予定 ※企業・団体のスケジュールにより、2期募集を行う場合は1月実施予定。
出願期間	1期: 5/11(木)～5/15(月) 2期: 6/5(月)～6/7(水) 3期: 7/3(月)～7/5(水)	1期: 11/27(月)～11/29(水) 予定 ※2期募集を行う場合は募集要項でお知らせします。

◆申し込み

志望企業・団体が指定しているエントリーシート(KG枠もしくは企業・団体所定の様式)を出願期間内に各キャンパスキャリアセンターに提出してください。

※複数の企業・団体に出願する場合は、それぞれの企業・団体分のエントリーシート提出が必要です。

◆事前オリエンテーション・フォローアップセミナー (インターンシップ事前オリエンテーション)

限られた日数での現場体験であるインターンシップを有意義なものにするために、自己の目標を明確化します。またビジネス現場で必要となるマナーについても学びます。

※KG枠インターンシップ参加者、「インターンシップ実習」の単位認定希望者は参加必須です。インターンシップ先が未定の場合や、公募型のインターンシップに参加する方も出席可能です。

◆インターンシップフォローアップセミナー

インターンシップで得た体験、知識を今後につなげていくために、自らの経験を振り返り、自己の「働く現場」での課題を明確化します。また、他の受講者と自らの課題を共有することでさらなる視野の広がりを得ます。

※KG枠インターンシップ参加者、「インターンシップ実習」の単位認定希望者は参加必須です。

公募型インターンシップ・公募型プログラム

KG 枠インターンシップ以外で、各企業・団体が独自で実施するインターンシップやプログラムは、各自で情報を調べて応募してください。情報については、「KGキャリアナビ」(8頁参照)、各企業・団体のホームページや就職情報サイト等で入手することができます。

官公庁(公務員)でのインターンシップ情報は、各官公庁ホームページで

のみ公開されていることが多いため、参加を希望する場合は、各自ホームページをチェックしておくことが大切です。応募に際して、大学(キャリアセンター)で取りまとめ申請する形式の場合、官公庁ホームページ等に掲載されているのは、取りまとめ後の締め切りです。キャリアセンターへの書類提出の締め切りとは異なるので、早めにキャリアセンターに相談に来てください。

「KGキャリアナビ」を使って インターンシップを探そう

「KGキャリアナビ」へのアクセス方法



「キャリア」タブをクリック

- ▶キャリアセンターからの重要なお知らせ
- ▶ガイダンスやセミナー、企業説明会のお知らせ など

- 1 教学Webサービス (<https://webcar.kwansei.ac.jp/>) へアクセス
- 2 ユーザー名、パスワードを入力して、ログインをクリック
- 3 教学Webサービスのトップ画面が表示されます。「KGキャリアナビ」は、コンシェルジュの「キャリア」タブ内にあります。



コンシェルジュの「キャリア」タブをクリック

- ▶KGキャリアナビ
- ▶履歴書・自己紹介書ダウンロード
- ▶キャリアセンター利用について

※大学に届いたインターンシップ情報は「イベント・インターンシップを探す」から検索可能です。

インターンシップ参加者の声

先輩たちはどのようなインターンシップに参加し、何を学び、それらをどのように生かしていたのでしょうか。今年卒業した先輩に、参加したインターンシップについて伺います。

- 1 インターンシップ先
- 2 インターンシップ先を選んだ理由
- 3 学んだこと
- 4 メッセージ

KG枠 インターン シップ

- 1 総合商社(法務部)
- 2 大学で勉強した法律を生かせる法務部の仕事に興味があり、生の法務の現場を体験したいと考えたためです。また、5日間社員の方々と机を並べて実習させていただけるプログラムだったため、法務の仕事を通して誰と関わって何を動かすのかなど、実際に働くイメージを作って帰ろうと挑みました。
- 3 一つは、法務部の仕事の使命は会社から可能な限りリスク要因を減らすことであるということ。そのためには、法務の知識はもちろん、リスクを想像する力、営業部と密なコミュニケーションを取る力が必要だと感じました。また、社内向けに発信するメルマガを作成する機会を頂き、その課題作成の

過程では情報を取捨選択し、会社にどういった影響があり、それを踏まえてこれからどう対応していくべきかまで自分の考えを分かりやすく伝える必要がありました。就職活動中も、面接等で常に自らの考えを問われる機会があるので、その姿勢は役立ったと思います。

4 応募前に、筆記対策と自己分析をすることを勧めました。夏応募のインターンシップでも、SPIや幼少期からの深掘りがありました。また実習先で出会う学生とは志望業界が似ているので、その後も継続的に情報交換すると思います。入社後の働くイメージを作る最大のチャンスだと思っていますので、迷ったら応募してほしいです！

公募型 インターン シップ

- 1 公務員
- 2 公務員志望だったというのが1番の理由です。ゼミのレポートで観光に関する政策について調べていたこともあり、募集内容に興味を持ちました。漠然と公務員を志望していたため、実際にどのような仕事をしているか学べる良い機会だと思い選びました。
- 3 自分の中で公務員の仕事に対するイメージが一変しました。デスクワークばかりのイメージを持っていましたが、実際は外回りの仕事も多く最初に持っていた印象と全く違いました。毎朝、職員の方が自分の

仕事内容と関連する新聞記事を探してスクラップしていて、専門性の高い仕事をするには常にアンテナを張っていなければならないことを感じました。

4 アクティブになることです。わりと自由な時間が多く、職員の方もいつでもどんなことでも聞いてねと行ってくださっていましたが、最初は緊張でじっとしていることが多く少しもったいなかったと感じます。貴重な時間、機会を生かすためにもアクティブになることが大切だと思います。

インターンシップQ&A

Q 志望の業界が決まっていません。どのインターンシップに行けばいいですか？

A 将来就きたい仕事があり、そういった仕事をインターンシップで経験してみるのがいいですが、やりたい仕事がいまいち分からない学生が、インターンシップでの経験によって自分の将来について明確なプランを持てるようになる場合もあります。まったく興味がない業界やどんな仕事をしているのかわからない企業のインターンシップに参加してみることで新しい世界を知ることができます。就職活動の際には、いろいろな情報を取捨選択していく必要があります。インターンシップ先を選ぶ際にその予行練習と思ひ、自分で選んでみる経験が重要です。

Q インターンシップ情報はどこで探せばいいですか？

A 「KGキャリアナビ」を活用してください。大学宛てに届いたインターンシップ

の情報は全て「KGキャリアナビ」(上記参照)に掲載しており、関学生にインターンシップに参加してもらいたいと考えている企業・団体の情報が豊富です。興味のある業界や企業がある場合は各企業・団体のホームページから情報を得ることもできます。「リクナビ」や「マイナビ」などの情報サイトではインターンシップを一覧で見ることができます。また、学外で合同説明会が実施されることもあります。こまめに新着情報を確認しましょう。

Q インターンシップや留学は就職に有利ですか？

A どちらも就職に有利になるというわけではありません。大切なのはインターンシップや留学の経験から、どのようなことを学び、成長することができたか、ということです。ただ参加するだけでは評価されません。目標・目的を持って、行動することが大切です。

学びの波紋が広がる！

西宮聖和キャンパスに ラーニングコモンズ「リプラ」誕生！

西宮聖和キャンパスの中央に位置する2号館に、ラーニングコモンズ「リプラ」が2017年4月にオープンしました。仲間と「集まる」、交流の中でアイデアを「練り上げる」、それを実際に「やってみる」という三つのアクションを連動・展開させ、「学び」を共に探究するための場です。重層的な学びが、このラーニングコモンズという学びの中心地から“波紋”を描き(ripple out)、広がっていくように、との思いから「リプラ」と名付けられました。西宮聖和キャンパスを学びの側面から盛り上げるべく活動するCORsの学生の皆さんと、「リプラ」の魅力を紹介します！



コアーズ [CORs (Circle of Rippla)]

私たちは、イベントなどを企画し、リプラの活性化をお手伝いする学生団体です。リプラを西宮聖和キャンパスの学生が誇れるものにしていきたいとします。リプラについて質問や要望があれば、CORsのメンバーを見つけて気軽に声を掛けてください。



ルールとサポートスタッフ

【全体ルール】

- ◆サークル・クラブ活動のミーティング等での使用はできません。
- ◆関西学院大学および聖和短期大学の学生以外の者(卒業生含む)を交えての使用を希望する場合は、所定の用紙で使用日の7日前までに聖和キャンパス事務室へ申し出て、許可を得てください。
- ◆自動販売機前の一部スペースは、館内で購入した食品の飲食が可能です。それ以外のスペースでは、ふた付き容器の飲料のみ利用できます。
- ◆30分以上席を外す際は、いったん利用を終了してください。

【PC貸出ルール】

- ◆学生証と引き換えに、1人1台のPCを貸し出します。
- ◆貸し借りは禁止とし、返却時も必ず本人が返却することとします。
- ◆PCの事前予約は不可とします。
- ◆利用できるのは原則2コマとし、空きがあった場合は1コマずつ延長できます。
- ◆利用は2号館リプラ内に限ります。
- ◆最終の返却時刻は閉館時刻の30分前とします。

【リプラサポートスタッフ】

「利用方法が分からない」「イベントを企画したいけどどうしたらいい?」といった疑問は、サポートスタッフに相談してください。施設利用方法や機器の操作だけでなく、プレゼンテーションのアドバイスも行います。



ルールを守って正しく利用して、リプラを素敵な学びの場にしていきましょう！

教育学研究科M1年生
竹本 さりさん

予約方法 (グループスタディルーム)

- ◆3人から利用でき、予約は当日受付のみとします。
- ◆1グループにつき2コマまで予約可。空きコマがあれば1コマずつ延長できます。
- ◆予約時間を30分経過後でも来ない場合はキャンセル扱いとします。
- ◆予約できるのは、ヨナ・ルツ・204・205・206教室です。204・206教室は分割しての利用が可能です。

集まる

【フリーラーニングゾーン】

1階の「フリーラーニングゾーン」は1人でも仲間とでも、予約なしで自由に自習場所として利用できる学習多目的スペース。ここに集まり、仲間の学びに刺激を受けることで、各自の学びをより深め、発展させることを目的としています。カウンターにはサポートスタッフが常駐し、学習を支援します。

飲食が可能なのは自販機前のスペースのみ！それ以外はふた付き飲料のみ利用可能です。

教育学部4年生
森永 大智さん



リブラには施設利用方法や機器の操作、プレゼンのコツなどを教えてくれるサポートスタッフがいます。分からないことがあれば相談に行こう！



教育学部4年生
杉本 親春さん



練り上げる

【グループスタディールーム】

1階と2階にある「グループスタディールーム」は3人～36人のグループワーク用スペースで、仲間同士で「練り上げる」ことを繰り返す、ひらめきをカタチにする場です。

グループスタディールーム	ヨナ	【定員8人】
グループスタディールーム	ルツ	【定員8人】
204教室グループスタディールーム		【定員10人×2ブース】
205教室グループスタディールーム		【定員20人】
206教室グループスタディールーム		【定員6人×6ブース】

グループスタディールームにもさまざまな種類があります。人数や目的によってうまく使えば学習効果もアップ！

教育学部4年生
密岡 竜さん



グループスタディールームは予約が必要です。忘れずに事前に申請しましょう！



教育学部4年生
松下 和叶さん



やってみる

【イベントスペース】

中央にある「イベントスペース」はイベント活用が可能で、プレゼンテーション、ポスターセッション、模擬授業など活用方法は無限です。定期的にShort Activity、Long Activityも行っており、新たな知識と発見、出会いを得る場にもなります。

▶ イベントスペースの利用について

発表会、イベントなどで使用することも可能です。所定の用紙で使用日の3カ月～1カ月前までに、聖和キャンパス事務室へ申し出て許可を得てください。

Long Activityは「学生の感性とスキルを磨く！」をテーマに隔週90分ほど開催！学内教員、短期大学教員、学外ゲストなどをファシリテーターに、それぞれの専門性を生かしたテーマで開かれます！

教育学部4年生
野尻 愛咲香さん



Short Activityは「学生の教養を刺激する！」をテーマに隔週火曜日12時50分～13時20分に開催！聖和キャンパスの教職員や学生がスピーカーとなり、「教師になったきっかけ」や「時事問題」、「流行」などさまざまなテーマについて話します！



教育学部4年生
橋詰 昂幸さん

私の髪で誰かを笑顔にしたい HAPPY NEWS2016で大学生大賞



今関 奈々子さん

国際学部2年生

読んで幸せになった新聞記事と、その感想を募った「HAPPY NEWS2016」(日本新聞協会主催)で、大学生大賞(個人)を受賞した。

新聞を読むのは「中学3年生からの習慣」という。いつものように記事をチェックしていると、病気などで頭髪に悩む子どもにも切った髪を寄付する「アドネーション」の記事が目に入った。髪に悩む子について考えたことがなく、切った髪が誰かの役に立つことを知って驚いたと話す。すぐに「髪を寄付することで誰かを笑顔にできる、私の髪でヘアアレンジを楽しんでほしい」と素直な感想を寄せた。

高校では陸上部に所属し、近畿

大会でも活躍した。「大学では、髪を伸ばしておしゃれがしたい」と高校2年生から伸ばし始めたが、最近では家族から「見た目が重いし、床に落ちた毛も目立つ」と言われ、自身も「面倒くさいことも多いからそろそろ切ろう」と考えていた。記事を見つけたのは、そんな時だった。「私の髪が人の役に立つなら」と伸ばし続けることを決めた。

寄付に必要な長さは31センチから。髪はその長さに達する今年9月に切る予定だ。「寄付をする相手は選べないけれど、もし選べるなら、中学生くらいの子に届いてほしい。三つ編みやカールで思い切りおしゃれを楽しんでほしい」と思いをはせる。

ジャンプを磨き練習を重ねて 念願の全日本フィギュアの舞台へ

東

和薬品 RACTABDROOM

(大阪府立門真スポーツセンター)で昨年12月に開かれた「第85回全日本フィギュアスケート選手権大会」に出場した。フィギュア界では長身の175センチの身長と長い手足に加え、中学時代にアイスダンスで鍛えたスケイティング技術を用いた表現力が強みだ。

「三つ上の姉の影響で5歳からスケート 시작했다」とい、「気付いたら滑っていた」。小学4年生の時に初めてクラス別の全日本大会に出場して3位になったが、学年が上がるにつれて、苦手なジャンプがあたとなり順位が落ちていった。「ジャンプを磨かないと、上では勝負できない」と高校でジャンプを磨いた。大学入学後は「練習の量も質も上げてい

きたい」と、週6日、2時間半から4時間半の練習に取り組み、オフの日も自主練習を欠かさず、とにかく練習した。結果が出たのは、昨年10月の西日本大会。徹底的に磨いてきた3回転ジャンプを中心に、完ぺきな演技で全日本大会出場を決めた。「全日本のために必死にやっていたので、演技を終えた時はうれしくて涙が止まりませんでした」と振り返る。

全日本大会では、けがの影響もあり、ベストな演技はできなかったが、気持ちのためにスケートをしているんだと確認できた。良い演技ができるようになってからも頑張りたい」と今後を見据えている。

渡邊 純也さん

商学部2年生



勉強に、スポーツに、趣味に一。
さまざまな分野で一生懸命に頑張るKGビートル。
きらきらと輝く横顔を紹介する。

デンマーク人宣教師の 日本での活動について母国で講演

クリスチャン・モリモト・ヘアマンセンさん 法学部教授・宣教師



日 本とデンマークの外交150周年を記念して、3月に「ペンハ

ゲン大学で開かれた協議会「Viewing Each Other」に講演者として招待された。集まった現地の大学生や社会人、日本人留学生ら約100人を前に、自身の研究テーマである「日本に行つたデンマーク人の宣教活動」について講演した。

初めて日本を訪れたのは1987年、ペンハゲン大学在学中の1987〜88年。日本福音ルーテ教会のボランティアとして、各地の社会福祉施設で活動しながら約10カ月間、宗教と社会を学んだ。「大阪の釜ヶ崎でホームレスや日雇い労働者、彼らに寄り添う教会の人々との出会いがなければ、今の私はないと思う。日本キリスト教協議会の日本宗教研究所に寄つたこ

とも人生に大きく影響しています」と当時を振り返る。帰国後も日本について学び続け、2004年に関西学院大学に宣教師として赴任した。現在は、英語と日本の歴史、宗教を教えながら、宣教師としてチャペルでの奉仕活動をしている。

「外交の歴史は長いが、日本人もデンマーク人も互いのことはあまり知らないと思う」と、年に一度、帰国した時には日本に興味を持つ人に対して日本の宗教や歴史などについて話し、現地の新聞に日本に関する記事を書くなどしている。

学生夫のメッセージとして「自ら世界に出て行ってほしい。挑戦することで素晴らしい可能性が広がるはず。その好奇心を支えたい」とエールを送る。

ひと人ひと

諦めないことの大切さを実感 空手の世界選手権団体形で優勝

森岡 実久さん 2013年 商学部卒



昨 年10月にオーストラリアで開かれた「第23回世界空手道選手権大会」の女子団体形で2大会ぶり2回目の優勝を果たした。

3人で演じる団体形を始めたのは大学からで、一糸乱れぬ美しさと力強さに引かれていった。3年生の春に初めて日本代表に選ばれ、2012年の世界選手権大会で優勝したが、連覇を狙った14年の大会は自身のミスもあり決勝で敗れた。「このままじゃ終われない」と気持ちを入れなおした矢先、慕っていた先輩がけがで離脱した。

心折れかけ、引退も考えたが、「お前は日本代表やろ。しっかりせえ」という父の言葉で奮起した。先輩に代わってリーダーとなり、1年という短い期間

でチームを作り上げて大会に挑んだ。山場となった準決勝のイタリア戦を3-2で勝利すると、決勝も勢いをそのまま維持し、スペインを5-0で下した。「大変な1年でしたが、周りの人に支えてもらって乗り越えられた。優勝できてホッとしました」と振り返る。

現在は、川西市の道場で小中高生の指導に当たっている。「諦めなかったから多くの人に出会い、夢をかなえられた。空手で報われるとは限らないけれど、諦めないことで得られるものがあると思います」と振り返り、子どもたちには「諦めないことの大切さ」を伝えている。「将来はナショナルチームのコーチとして、子どもたちと一緒にオリンピックに出たい」と笑顔を見せる。



人間福祉学部
藤井美和ゼミ

死を含めた生き方を考え いのちに対する価値観を構築する

「死」

「死」を意識することにより、目し、いかに生きるかを考えるのが「死生学」です。生と死にまつわる問題について、その背後にどのような価値観があるのか明らかにしながら、生きる意味やQuality of Life(いのちの質)について考察します。

現代は、死ぬ場所が家から病院に移り、「ホモノの死」を目にすることはほとんどなくなり、一方で、映像やゲーム等のバーチャルリアリティの世界には「ニセモノの死」があふれています。このような環境の中で、学生は未知なる「死」にどう向き合えばよいか分からなくなっているようです。

ゼミでは「ターミナルケア」「代理母出産」「自殺」など、学生が選んだ事象について、まず、その背景にある理論や価値観を学問的視点から学びます。次に、それが「自分や家族に起きたら」と、視点を変えていきます。例えば、「自殺」について、三人称の視点だけで考えると、「自殺も一つ

の生き方」と捉える学生はいます。しかし、「もし大切な人が自殺したいと言ったら」「もしそれが自分なら」と、一人称、一人称へ視点を移していくと、自分自身の価値観も社会に対する見方も大きく変わっていきます。どこか他人事であった「死」を身近な人の問題、あるいは、自分の問題として捉えることで、いのちの在り方、死を含めた生き方について、積極的に向き合うことができるのです。



藤井 美和 教授

生と死の問題は、自らの死生観を持っていないと大勢に流されてしまいます。学生には、いのちに対する価値観を構築し、それに基づいて自分の判断ができるようになってほしいと伝えていきます。「いのち」をどう捉えるのか、これからの社会を生きていく上で、この問いはますます重要なものになっていくと考えています。

さまざまな視点から「生と死」を考察

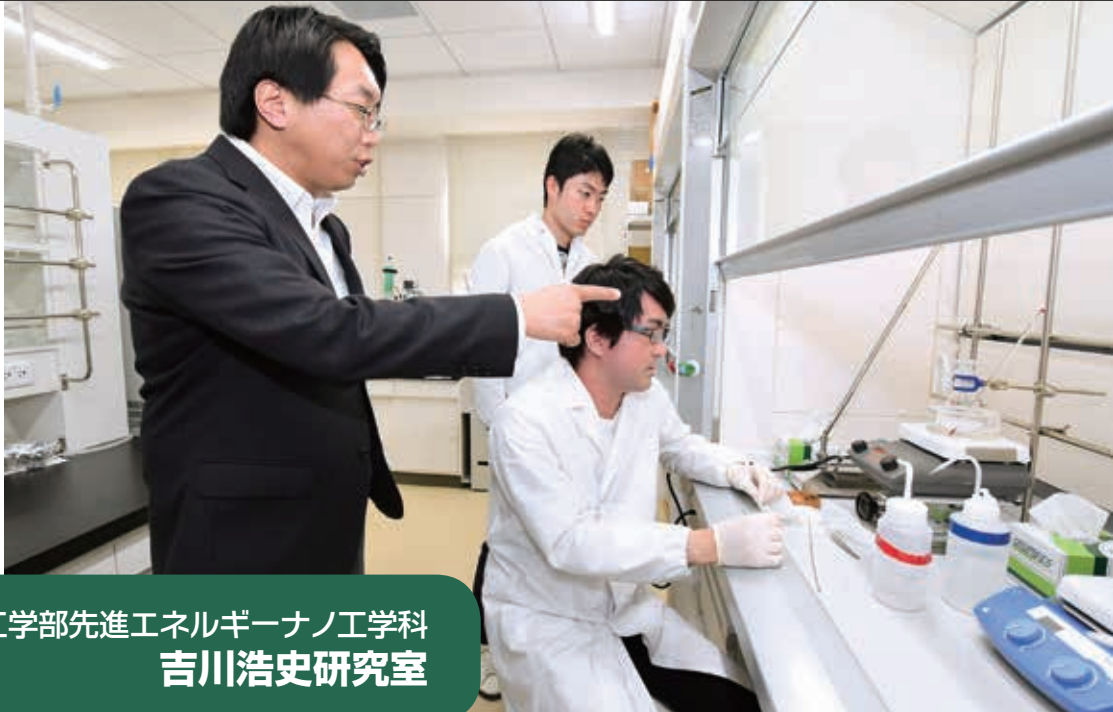


志智 可奈子さん
人間福祉学部4年生

中学2年生の時に祖母を亡くしてから「死が身近なものになり、「死」について考えることが多くなりました。「死」を見つめることは「生るること」を見つめることだと考え、「死生学」を扱う藤井先生のゼミで学ぶことを決めました。

ゼミではまず、優生思想や功利主義、選好功利主義といったいのちの議論において重要な考え方を徹底的に調べ、レポートにまとめます。その後、2人1組で「あなたにとっての生きがいとは」「殺処分のは非」など、ゼミ生自身が選んだトピックについてリサーチし、プレゼンテーションします。こうした活動を通して、生き方や命の在り方などを学んでいます。

藤井ゼミは少人数だからこそ討論などが活発で、中身の濃い時間を過ごすことができます。また、「生と死」という正解のない問題についてさまざまな視点から考えるため、自然と他の人の意見を尊重できるようになり、物事を多方面から深く考える力が付くと思います。



理工学部先進エネルギーナノ工学科
吉川浩史研究室

高性能で信頼性と安全性の高い 新しい二次電池の開発に取り組む

大 容量や急速充電、高い信頼性と安全性の確保を目的に、分子性物質を電極材料に用いた新しい二次電池の開発に取り組んでいます。

現在、一般的に使用されているほとんどの二次電池の正極には、リチウムコバルト酸などの金属酸化物が使われていますが、金属酸化物は有毒な上に、環境面やコスト面においても問題を抱えています。

そこで、環境とコストの問題が解決でき、電池の機能に必要な酸化還元ができる分子性物質を正極に使うことができないかと考えました。金属酸化物よりも電子の移動を効率よく行う分子性物質を、リチウム二次電池の正極活性物質として使うことで、汎用的なりチウム電池よりも大きな電池容量を実現できました。

最近では、分子がどのように電子を出し入れして電池としての機能を果たしているのかを、放射光を用いて解明することに取り組んでいます。これを明らかにすることで、

新たな電池の開発につながるのではと考えています。また、乾電池に使用されている液体の電解質溶液を固体の有機高分子ゲルにするための研究も進めています。固体にする

ことで、液漏れなどを防ぐことができ、より高い安全性を確保することができるようになります。将来的には、従来よりも高性能で、信頼性と安全性の高い二次電池を実用化につ



吉川 浩史 准教授

なげていきたいと考えています。学生たちには、結果が出なかった時こそ成長のチャンスがあると考えようように伝えています。予想通りの結果にならなかった理由を考え、工夫を凝らして努力してほしいと思

うからです。現在ある理論や技術を応用するだけではなく、新しい原理原則を見つけることも大事にしたいと考えています。

ポリマーを使用した固体電解質を研究



市場 遥介さん
理工学研究科M1年生

通常、二次電池には電解質溶液が用いられていますが、それよりも高性能で安全な固体電解質の開発を目指して研究を進めています。将来的には、固体電解質をスマートフォンなどの携帯型電子機器に用いられている二次電池へ応用したいと考えています。

電解質溶液を用いた電池は、液漏れや発火の恐れがある上に、充電放電を何度も繰り返すうちに容量が小さくなってしまいうなどの欠点があります。しかし、固体電解質を用いることができれば、それらの心配がなくなり、電池も長持ちします。固体電解質の作成には、ポリマー(高分子)を使用しています。有機溶媒に溶かすことで一度液状にし、それを電池の中に組み込める形に整えることで固体電解質として使えるようにする実験を続けています。

まずは固体電解質の作成の研究を進め、将来的には安全で高性能な二次電池を開発できればと思っています。

※先進エネルギーナノ工学科は2015年度新設のため、市場さんは物理学専攻のまま、先進エネルギーナノ工学科の吉川研究室に配属されています。

このコーナーでは、KGB総
部放送局が記事と映像で、
部活動に励む関学生のイキ
イキとした姿をお届けします!



突撃!
KG CLUB
by KGB

(体育会 ゴルフ部)

ゴルフ部は1954年に創設され、60年
以上の歴史と伝統を誇る部活で、男子部
員20人、女子部員8人の計28人で練習
を行っています。2016年の春の大会に
おいて、初となる男女共に全国大会進出
という好成績を収めました。

練習日

月曜、水曜、金曜

活動場所

千刈カンツリー倶
楽部、上ヶ原キャン
パス打球練習
場、尼崎テクノラ
ンドなど





インタビュー

主将 島田 一史さん (商学部4年生)

Q.チームの強みは?

団体戦で勝つためには個人だけでなく、団体としての結束力が必要と考えており、チームは上級生、下級生関係なくコミュニケーションが取れる環境が強みだと思います。

Q.チームのモットーは?

ゴルフの競技的成長だけでなく、エチケットマナーを備えた人間的成長をモットーに活動しています。



取材レポート

ゴルフ部に突撃! 彼らの練習の密着取材やインタビューを通してゴルフ部の魅力に迫りました! 映像も、ぜひご覧ください!

動画もCHECK!

↓映像はこちらから



KGB総部放送局

関西学院大学で唯一の放送団体。アナウンス、ドラマ、技術、制作、報道の5パートに分かれ、昼休みの放送、番組制作、イベント音響などさまざまな活動を行っています! 興味のある人はTwitter、ホームページなどをご覧ください!

HP→<http://www.everyday-kgb.com>
Facebook→<https://m.facebook.com/KGBbroadcast>
Twitter→<https://twitter.com/KGBbroadcast>

インタビュー



主務 古賀 洋一郎さん (法学部4年生)

Q.チームの雰囲気は?

仲が良く、上下関係がしっかりとできている環境です。

Q.ゴルフをやっているとやりがいを感じることは?

ゴルフでは人と話す機会が多いため、そこで人格形成やエチケットマナーを学ぶことがやりがいと感じています。



ホセ ダビ ボーデン スベルビ
JOSE DAVID BODDEN SUBERVI さん
 (経営戦略研究科2年生)
 ドミニカ共和国出身



業務を通じ 時間の使い方や 伝えることの 大切さを学んだ

新しくできた留学プログラムを利用して、2月から1カ月間、ベトナムの[Lots]というメディア会社でインターンシップをしてきました。

自分の強みが分からず不安だったため何かに挑戦したいと思い、インターンシップへの参加を決めました。日本ではなく海外のインターンシップを選んだのは、グローバル社会といわれる現代に適應できる、グローバルな人材に少しでも近づきたいと思ったからです。海外に行くこと自体が小学校以来なので、自分としては大きな決断をしたなと思います。

業務内容は多岐にわたり、現地メディアによる英語の教育情報ニュースを日本語にまとめたリ、イベントの企画や運営のアシスタントをしたり、時には営業に同行したりしました。全てが初めての経験で、ベトナム人の独特な英語の発音にも苦労し、最初は戸惑うことが多かったです。しかし、そのような経験の中で学ぶことは多く、特に、時間の使い方はうまくなると感じています。



↑オフィスでの仕事の様子 ↑現地の社員と(左が杉山さん)

例えば、ニュースの翻訳については、最初はうまく訳すことがかり考えていて、短い記事でもまとめるのに2時間ほどかかっていました。しかし、それでは他の業務に手が回らないので、業務全体を見るようにし、一つの業務に割ける時間を決めて、その時間内でベストの仕事をするように心掛けました。他にも、インターンシップでの業務を通して、この仕事は誰のためにしているのかを考えると、独特な英語の発音をするベトナム人とのコミュニケーションを通して、はっきりと伝えることの大切さを学びました。

帰国した現在も、経験を通して学んだことを生かしながら何事にも挑戦していきたいと思っています。

海外インターンシップ
 杉山陽子さん(経済学部3年生)
 派遣国 ▼ ベトナム



日本での学びと たくさんの人との 出会いに感謝

↓神戸まつり2016で友人と



— 日本に留学した理由は。

ドミニカで放送されているNHKのドキュメンタリーで、日本の教育や、戦後の復興に関する放送をよく見ていました。特に、戦後に新幹線を開通させ、オリンピックを開くなどした日本の復興スピードと、みんなが集まって協力しようとする姿には感動しました。その時から日本に来て、日本の技術を学んでみたいと思うようになりました。

— 関西学院大学を選んだ理由は。

二つ理由があります。一つ目は、立地です。勉強に集中するためには、良い場所に住むべきだと考え、神戸に住むことを決めました。神戸は街と自然のバランスが良く、海と山があるので故郷に近い雰囲気で落ち着きます。二つ目は、大学のプログラムです。英語で学べるMBAプログラムがあることが魅力的でした。選択できる教科も豊富ですし、教員のほとんどに留学経験があるということからも、私のような外国人にとって学びやすい環境があるという印象を受けました。

— 関西学院大学の好きなところは。

国際的な雰囲気が好きです。留学生がたくさんいるので、いろいろな国の人と交流することができます。交流の中で、異なる文化や考えを知ることができ、それらを受け入れることで人として成長できていると感じます。

— 休日はどのように過ごしていますか。

旅行が好きで、これまでたくさんの場所に行きました。印象に残っているのは岐阜県高山市への旅です。合掌造りが美しく、町並みもまさに日本と

いう雰囲気で大好きになりました。町の案内パンフレットにスペイン語版があったことにも感動しました。あとは、歌うことが好きです。特に「夏の日の1993」など昔の曲が好きで、よく歌っています。

— 好きな日本語を教えてください。

「感謝」です。私にとって日本に来ることは人生における夢でした。日本は私の国からとても遠いですが、金銭的な問題もあり、来ることはほとんど不可能とさえ思っていました。しかし、今こうして日本で学び、たくさんの人に出会っていることを本当に感謝しています。これからどんなことが起きても、「感謝」することを忘れないようにしたいです。それほど、この言葉は私にとって大切なものです。



数字でみる 関学

今号の特集2で紹介したように、西宮聖和キャンパスにラーニングcommons「リブラ」が誕生しました。そこで今回は、学生がどれくらいの頻度でcommonsを利用しているのかを紹介します！

commonsの利用頻度

※高等教育推進センターでは、第19回カレッジコミュニティ調査を2016年6月～7月に実施し、報告書を17年3月に発行しました。報告書の「commonsの利用頻度と利用目的」を参考に紹介します。数字は小数点以下を四捨五入しています。

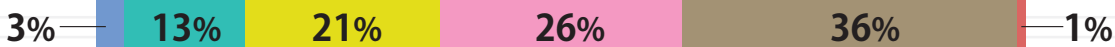


commonsの利用頻度が高い学生は、授業関連の学習に費やす時間も多そうです。

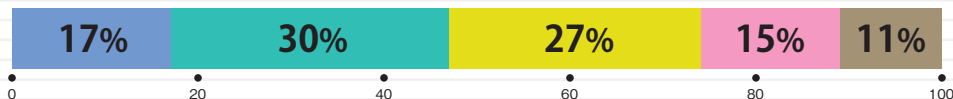
全体



西宮上ヶ原キャンパス



神戸三田キャンパス



全体 で6割以上の学生がcommonsを利用していることが分かります。キャンパス別で比べてみると、神戸三田キャンパスの学生が頻繁に利用しているようです。西宮上ヶ原キャンパスでは、各学部管理建物に独自の学習スペースがあること、G号館にラウンジがあることなどから、学生たちは時間帯やニーズによって活動場所を使い分けられているのかもしれません。

理工学部生は、約3割が「ほぼ毎日」利用している！



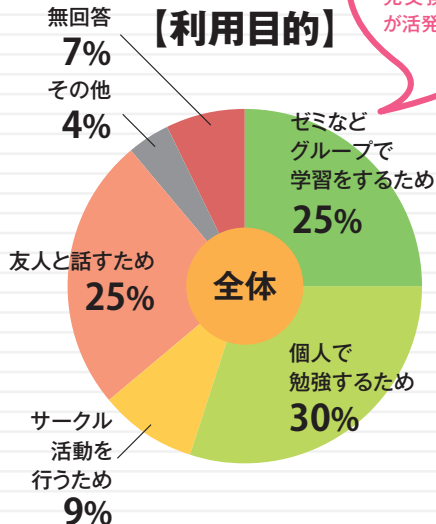
ゼミやグループで使うことで意見交換や討論が活発に！

番外編

commonsを利用する目的は？

「ゼミなどでのグループ学習」「個人学習」「友人と話す」を目的にcommonsを利用する学生が多いようです。しかし、所属学部によってその傾向は異なり、経済学部、商学部では「ゼミなどでのグループ学習」、文学部、社会学部、法学部、理工学部などでは「個人勉強する」目的で使用することが多いようです。

【利用目的】



国連人口基金と インターンシップ協定を締結

関西学院大学は1月25日、ステーションコンファレンス東京(東京都千代田区)で、国連人口基金(UNFPA)(東京事務所長:佐崎淳子氏)とインターンシップに関する協定を締結しました。国内の大学で3例目、私立大学では初となります。

関西学院大学では、スーパーグローバル大学の事業の一環として、4月に大学院副専攻「国連・外交コース」をスタートさせました。この協定により、国連人口基金は学生の国際的なインターンシップ先の一つになります。年間5人の学生を最長半年間、派遣する予定です。



国連人口基金と関西学院大学とのインターンシップ協定締結調印式

国連人口基金とのつながりは、2004年度に、国連人口基金事務局長(当時)であったトラヤ・アーメド・オベイド氏に対して、関西学院大学が名誉学位を授与したことから始まりました。これを機に設立された「オベイド基金」を基に、国連人口基金東京事務所でのインターンシップ・プログラムが始まり、2010年度までの7年間に合計24人の学生が参加しました。

スリオカ博士の研究グループの論文が 科学誌「Science」に掲載

理工学部情報科学科の研究特別任期制助教アドナン・スリオカ博士(科学技術振興機構JST・CREST研究員)と研究グループによる論文が、科学誌「Science」に掲載されました(2017年1月20日)。

この論文は、フルオロ酢酸デハロゲナーゼと呼ばれるホモ二量体酵素の機能制御における重要な側面を明らかにしたものです。フルオロ酢酸は有毒植物から得られ、強い毒性を持っていることが知られていますが、この酵素の触媒反応により、フルオロ酢酸の強い化学的結合を破壊し、スキンケアにも用いられるグリコレートを生成することが知

られています。このような触媒の機能制御に大きな役割を果たしていると考えられている、たんぱく質動力学とアロステリーと呼ばれるたんぱく質内の遠隔情報伝達の役割を解明したものです。

論文の中で、スリオカ博士は、剛性理論と呼ばれる数学理論に基づいた、たんぱく質の構造解析アルゴリズムを開発し、この機能解明に大いに貢献しました。これは離散数学とアルゴリズムの研究が、生化学分野における重要な謎の解明に迫る新しい知見を得ることに本質的に寄与したことを示しています。

淀川キリスト教病院との 包括連携協定調印式を実施

関西学院大学は1月23日、宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション淀川キリスト教病院と包括的な連携協定に関する協定を締結し、調印式を行いました。

この協定は、両者のさらなる連携強化により、相互の教育・研究および医療技術等の一層の発展と地域社会



淀川キリスト教病院・関西学院大学 包括連携協定 調印式

の発展に寄与することを目的としています。

留学生たちが日頃の成果を發揮 日本語でのスピーチ大会で受賞

「にしのみや留学生スピーチ大会」(西宮市国際交流協会主催)が2月4日、フレンテ西宮のフレンテホールであり、交換留学生のリウメイゲツさん(中国)が最優秀賞、正規留学生のクォンドヒさん(韓国)が努力賞、交換留学生のリクブンクンさん(中国)が特別賞を受賞しました。

このスピーチ大会の目的は、留学生が日本語で自身の経験や意見を発表することにより、聴衆である地域住民との相互理解を深めることです。また西宮国際交流デーに合わせて開催されるため、留学生は展示への参加や見学、地域



第21回 西宮国際交流デー

住民との交流、文化体験などを通じて国際理解を深めます。1人の持ち時間は5分。最優秀賞のリウメイゲツさんは「可愛い人たち」をテーマに、老人ホームでのアルバイトの経験で感じたお年寄りのかわいさやいとしさなどを話しました。他の留学生も関西学院大学での日本語学習の成果を存分に發揮、堂々とした姿をステージで披露しました。

村田治学長が 中教審の第9期委員に

松野博一・文部科学大臣は2月14日、文部科学省の諮問機関「中央教育審議会」の第9期委員を2月15日付で発表し、村田治・関西学院大学学長が任命されました。関西学院大学の関係者からは初めてです。任期は2年間。

村田学長は「中央教育審議会の委員に就任することになり、気が引き締まる思いです。

高等教育を含め日本の教育は大きな曲がり角にあります。子どもたちが将来、仕事などを通じて世界で活躍し、さらには日本経済を支えることができる人材となるために、教育は大きな役割を果たさなければなりません。その実現に向けて微力ではありますが貢献してまいります」と語っています。



SGH甲子園に84校234チーム 研究成果を日英2カ国語で発表



全国のスーパーグローバルハイスクール(SGH)が研究成果を発表し合う「全国スーパーグローバルハイスクール課題研究発表会2017 SGH甲子園」(関西学院大学、大阪大学、大阪教育大学主催、早稲田大学協力)が3月19日、西宮上ヶ原キャンパスで開かれました。

2016年度文部科学省大学入学者選抜改革推進委託事業として実施されたもので、84校234チームが参加。学校関係者を含めて約2000人以上が集う中、高校生たちは、

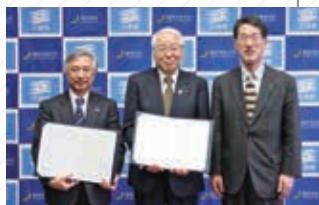
「フェアトレード」や「多文化共生」といったグローバルな課題から「待機児童」「AI」といったものまで、1年を通じて取り組んできたテーマについて、日本語と英語で発表しました。

審査の結果、日本語部門では「ファストファッションブランドの服はなぜ安いのか」をテーマにした大阪府立千里高校、英語部門では「Potential to solve American's obesity problem or food education for children」を発表した秋田県立秋田南高校がそれぞれ最優秀賞に選ばれました。

地域創生の実現に向け 兵庫県と包括連携協定を締結

関西学院大学は3月15日、兵庫県庁で兵庫県(井戸敏三知事)と地域創生に係る包括連携の協定を締結しました。兵庫県が大学とこのような協定を締結するのは、2例目になります。

今回の連携協定は、県と大学が相互に連携・協力することで、将来にわたり活力のある地域を構築する地域創生の実現につなげようというもので、既に兵庫県から事業実施提案が出されています。



大きなテーマとしては、「次代を担う人材育成」「地域の活性化や交流の拡大」「雇用の創出」「産業・科学技術の振興」「芸術・文化・スポーツの育成・発展」などの分野での連携を予定しています。

東日本大震災から6年 追悼礼拝を開催

関西学院大学は3月11日、西宮上ヶ原キャンパスのランバス記念礼拝堂で追悼礼拝「3.11東日本大震災より6年を迎えて～想起・追悼そして回復を祈って～」を開催しました。

第一部では、学生団体「上ヶ原ハピタット」の学生が、これまで行ってきた東北支援活動について報告。副代表を務める高橋麻衣子さん(社会学部3年生)は、「たくさんの人の思いが力となって、東北は一歩ずつ進んでいる。未来のことを考え、愛する町を次の世代につないでいくための町づくりをしていると感じます。復興を後押しする一人としてこれからも活動が続けていきたいです」と話しました。

第二部では、関西学院聖



歌隊の歌声を交えて、追悼・回復を祈る時を持ちました。また、震災から経過した年数に合わせて、ハンドベルクワイアの学生が6回ベルを鳴らし、全員で黙祷(もくとう)を捧げました。司式(もくとう)を務めた舟木讓・宗教総主事は「今こうして生きている私たちには、震災を後世に伝える責任がある。今もお苦しみと悲しみの中にいる人がいることを覚え続けるのは、私たちの最低限の務めであると思います」とメッセージを送りました。

兵庫県商工会連合会と 産学連携協定を締結

関西学院大学は3月1日、兵庫県商工会連合会(会長:志智宣夫氏)と産学連携の協定を締結しました。商工会会員事業所の次代を担う人材育成、地域中小企業の発展と地域経済活性化等に向けて、相互に連携・協力することを目的としており、既に商工会側から事業実施提案が上ってきています。

今後は、「地域資源を活用したまちづくり事業」「商品化の可能性のある技術とのマッチング研究」「地場産品を用いた特産品開発」「中小企業のビジネスモデルの構築」「インターンシップを通じた地方の企業への就業支援」等の分



野での連携を予定しています。

兵庫県商工会連合会では、研究機関でもある大学との産学連携の取り組みを拡大していくことにより、商工会の専門指導体制をより強化し、厳しい経営環境にある地域中小企業の発展、地域経済活性化に向けた事業を県内各地の商工会で展開していきたいと考えています。



松浦周二・理工学部教授が未知の背景放射成分を発見

理工学部の松浦周二教授らの研究グループは、近赤外線宇宙背景放射を観測するロケット実験CIBERにより、未知の背景放射成分が存在することを発見しました。



近赤外線の宇宙背景放射には宇宙初期の星やブラックホールからの放射が含まれていると期待され、その研究の進展が期待されていました。しかし、近赤外線の波長では地球近傍にある惑星間ダストの放射(黄道光)が強く、遠方宇宙からの背景放射の観測精度が上がらない状況が続いていました。

松浦教授らは、スペクトル観測により黄道光の成分を区別することで、宇宙背景放射の明るさを正確に測定。その結果、既知の星や銀河によ

る寄与では説明できない放射成分の存在を結論付けました。

この未知の放射が、宇宙初期に起源を持つかどうかを突き止めるのは、将来の研究に委ねられています。研究成果は4月10日(米国東部時間)に学術誌「アストロフィジカルジャーナル」に掲載されました。

国連難民高等弁務官事務所 駐日事務所から感謝状

関西学院大学はこのほど、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) から感謝状を授与されました。

関西学院大学は2006年にUNHCR駐日事務所と協定を締結し、全国で初めて2007年度から難民を対象とする推薦入学制度を設置しま

した。また、2014年には関西で初となる「UNHCR難民映画祭」での上映を西宮聖和キャンパスで行い、2015年からは「学校パートナーズ」として、西宮上ヶ原、神戸三田の両キャンパスで難民をテーマにした映画の上映イベントを実施してきました。

尾崎幸洋・理工学部教授が日本化学会賞を受賞

尾崎幸洋・理工学部教授が日本化学会賞を受賞しました。受賞題目は、「凝集相における電子・振動遷移の分子分光法の創成とその化学への応用」です。



尾崎教授は、未開拓、未発達な分子分光学の分野に独創的なアイデア、研究手法で挑戦し、それを大きく発展させました。同教授の分子分光法の研究は、幅広く総合的なも

ので、国際的に高く評価されています。

尾崎教授は、「研究室が開室して28年になります。このたびの受賞は、これまで関わっていただいた全ての尾崎研究室の学生、院生、ポスドク、助教や共同研究者の皆さんのおかげと考えています」と語っています。

地域創生を目指した活動をゼミや学生団体など10団体が報告

関西学院大学では、地域創生や地域活性化を目指して学生が地域に出て行き、自治体や企業、NPOなどと一緒さまざまな活動を展開しています。こ



うした活動を続けている8団体と、大学が主催し、企業と連携して実施する事業を企画・運営している2団体を合わせた10団体による報告会が3月27日、西宮上ヶ原キャンパスB号館で開かれました。

学生たちの活動は、観光や商店街の振興、日本酒の

振興策といったものから高校生のための国際交流の企画など多岐にわたっており、それらの内容について発表しました。会場には日頃から連携して活動している行政や企業、団体の方々も来場されており、発表後には活発な質問や意見交換などが行われました。

関学カプセル...33



建物は2009年に、学校法人聖和大学の起源の一つ、広島女学校保母師範科の創設者N・B・ゲーンズを記念して、「ゲーンズハウス」と命名された。名前は変わっても、ずっと学生たちを見守り続けている。

ゲーンズハウス

西宮聖和キャンパスのゲーンズハウスは1932年10月、W・M・ヴォーリズが設計した建物。ダッドレーメモリアルチャペルと同様、同キャンパスで最も古い建物の一つで、1992年に西宮市景観形成建築物に指定されている。

昭和初期から学生たちを見守る

若林克法・理工学部教授が 日本学術振興会賞を受賞

若林克法・理工学部教授が「第13回(平成28年度)日本学術振興会賞」を受賞しました。受賞対象となった研究テーマは「グラフェンの電子物性におけるナノスケール効果に関する理論」で、関西の私立大学における理工系の研究での受賞は初めてです。

この賞は日本の学術研究の水準を世界のトップレベルに発展させることを目的とし、人文学、社会科学および自然

科学の全分野において、45歳未満で博士または博士と同等以上の学術研究能力を有する者の中で、研究業績により学術上特に優れた成果を上げている研究者に授与されます。平成28(2016)年度は、計380人の被推薦者について、振興会内に設置されている学術システム研究センターにおける予備審査を経た後、本賞審査会で受賞者25人が選ばれ受賞しました。

橋本秀樹・理工学部教授らが 低コストで水素を作る触媒を開発

橋本秀樹・理工学部教授と富士化学工業株式会社は共同で、光エネルギーと鉄、炭素、酸素からできる新しい触媒(Fe-GO)を使って、水から水素を発生させるシステムを開発しました。この研究により、従来のように貴金属の白金など高価な素材を使用しなくても、低コストで同じ水素を生み出すことができるようになりました。

水素は次世代エネルギーと

して注目されているエネルギーの一つ。今回の開発で燃料電池車や家庭用燃料電池に使用できるようになり、橋本教授は「われわれの開発した触媒で水を分解して水素発生を行うことができれば、化石燃料に依存しない社会を構築することが可能となり、エネルギー・環境問題の解決に大きく貢献することが期待できます」と話しました。

天野之弥・国際原子力機関事務局長が 西宮上ヶ原キャンパスで講演



関西学院大学は、4月にスタートした大学院副専攻「国連・外交コース」の開設を記念して、国際原子力機関(IAEA)事務局長の天野之弥氏による講演会「Atoms for Peace and Development: the work of the IAEA and how it relates to you(平和と開発のための原子力:IAEAの仕事と私たち)」(使用言語:英語)を4月13日、西宮上ヶ原キャンパスで開きました。会場には学生と一般の人、関係者ら162人が集まり、耳を傾けました。

天野事務局長は、核の軍事転用防止や原子力平和利用に向けたIAEAの取り組みや課題

などを具体的な事例を交えて紹介。その後、4月から大学院副専攻「国連・外交コース」を受講している3人の学生とともに、神余隆博副学長(国連・外交統括センター長)がモデレーターとなってセッションを行いました。

講演終了後、天野事務局長は「質問一つをとっても、事前によく勉強していることが伝わってきて学生のレベルの高さを感じた。将来の活躍の舞台は日本に限られているわけではない。世界を舞台にさまざまな分野で活躍してほしい。若いうちは多少のリスクを覚悟しているいろいろなことに挑戦してください」とメッセージを送りました。

平松一夫・名誉教授が 金融庁・企業会計審議会会長に

平松一夫・名誉教授(元商学部教授)が2月20日、金融庁・企業会計審議会の会長に任命されました。平松名誉教授は、1992年に初めて同審議会の幹事を務めました。その後も臨時委員や委員として活躍し、日本の会計基準を世界基準に近づけることの重要性を訴えてきました。東京圏以外の大学から企業会計審議会会長が任命されるのは初めてのことです。

平松教授は「会計のグローバル化が進んでいますが、日

本のグローバル会計人材はまだ少ないです。国際会計に対する十分な知識と、異文化への理解を持ち、外国人会計士とも英語で対等に仕事ができるような人材の育成が大きなテーマです。グローバル会計人材とは何かを具体的に示し、それを目指しやすい仕組みを作ればと思います」と抱負を語っています。



KG★グルメ

BIG PAPA/BIG MAMA(西宮上ヶ原キャンパス)

グラムバイキング

BIG PAPAとBIG MAMAで利用可能なグラムバイキング。12⁷円=1.34円の値段設定もさることながら、クロックにハンバーグ、春雨炒めやサラダといった豊富なメニューがありがたい。レギュラーメニューと組み合わせてもよし、グラムバイキングだけのオリジナルメニューを作ってもよし! どう組み合わせるかは君次第です!(写真はBIG PAPAのグラムバイキング)



学院通信

関西学院高等部の数理科学部の生徒と先生らが、確率や数学的ゲームを題材とした5日間の無料プログラミング講座「数学的ゲームを用いたプログラミングと数学研究」を3月25日から開きました。数理科学部は、既存の問題を解くことよりも新しい定理や公式の発見に力を入れ、「誰もしたことがないことをしよう!」をコンセプトに活動してきました。今回の講座もそのコンセプトのもとに開かれました。

顧問の宮寺良平教諭と生徒の指導に当たる福井昌則さんに加え、昨年4月に総務省主催で統計データ活用などに関するアイデアを募集する「STAT DASHグランプリ」で最高賞の総務大臣賞をはじめ、その他の大会でも数々の賞を受賞してきた佐々木雄司さん(3年生)と小林優斗さん(3年生)が講師を務めました。当日は、集まった中学1年生から76歳までの20人以上にプログラミングの基礎や考え方を教えました。

佐々木さんと小林さんは「参加者全員が、最終日にはプログラミングを使ってゲームを作ることができたので良かった。数理科学部の新しいことに挑戦していくという考え方も伝えられたと思う」と振り返りました。宮寺教諭は「今後は関東などにも活動の場を広げていきたい。自分たちが成果を出したら良いと考えるのは、学内の生徒や教職員の他にも社会の多くの人を巻き込んで新しいものを作り上げていきたい」と話しました。



高等部数理科学部の生徒らがプログラミング講座を開催

↓講師を務めた佐々木さん(左)と小林さん

森下洋一・前理事長、元同窓会長を追悼

学校法人関西学院は3月26日、関西学院同窓会とともに、昨年12月18日に永眠された森下洋一・前理事長、元同窓会長の追悼礼拝を中央講堂で執り行いました。

式辞で、宮原明・関西学院理事長は「森下前理事長が就任された2008年から2012年までは、初等部開設、人間福祉学部開設、学校法人聖和大学との合併、学校法人千里国際学園との合併、国際学部開設など激動の時代でした。その中で、ご尽力いただき、今では約2万8000人が学ぶ総合学園に発展しました。また、関西学院の「新基本構想」と「新中期計画」の策定や、創立125周年記念事業でも中心となって進められ、関西学院の発展に大きく貢献されました。今、われわれは2039年の創立150周年に向け、新たなビジョンを策定しています。森下・前理事長は、文字通り「粉骨砕身」、関西学院に尽くされました。われわれは森下・前理事長の遺志を受け継ぎ、関西学院の発展のために今後も尽力してまいります」と話しました。

学校法人関西学院が2017年日本建築学会賞を受賞

学校法人関西学院と、1970年代後半から80年代にかけて行われた学生施設・教育施設の整備計画などの策定から今日に至るまで一貫して関西学院のキャンパスや建物の設計業務を担ってきた株式会社日本設計は、一般社団法人日本建築学会より2017年日本建築学会賞(業績)を受賞しました。

日本建築学会賞は、建築に関する学術・技術・芸術の進歩発達と、日本の建築文化を高めることを目的に、建築に関する特に優れた「論文」「作品」「技術」「業績」に対し授与されるもの。2017年は、

論文部門10件、作品部門2件、技術部門2件、業績部門は関西学院を含め4件が受賞しました。

今回の受賞は、関西学院西宮上ヶ原キャンパスが、1929年の創建以来の設計思想を継承しながら、現在の大学に求められる施設の機能向上を的確に行ったことが評価されているものです。基本的な骨格や景観の維持と施設・設備の機能向上の追求が対立するのではなく、両方をキャンパスにとって必要な事業として整備してきた関西学院の取り組みが、今後のキャンパス計画の好例になると期待されています。



読者アンケート&プレゼント

関学ジャーナルのアンケートにご協力ください。ご協力いただいた方の中から抽選で6名様に「KGLレーザーブックカバー」(文庫本サイズ:開いた状態で25²×17²)をプレゼントします。右記QRコードからアンケートにお答えください。締め切りは2017年6月30日(金)。当選は発送をもってかえさせていただきます。

※お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの発送以外では利用いたしません。

関学ジャーナルへのご意見・ご感想はWEBでも受け付けています。▶関学ジャーナルご意見・ご感想フォーム URL→<http://www.kwansei.ac.jp/form/kgjm.html>



スマートフォン



パソコン URL ↓

<http://www.kwansei.ac.jp/r/kgjournal/>



世界の街角から United States of America

Cofame, Inc. 代表取締役/COO

野口 寛士^{かんじ}さん

(2015年商学部卒)



↓サンフランシスコのゴールデンゲートブリッジ



サンフランシスコはゴールデンゲートブリッジやロンバードストリートで有名な観光地であり、またその南にあるGoogleやFacebook、Appleなどのインターネット巨大企業が立ち並ぶイノベーションの中心地は「シリコンバレー」として有名です。私はシリコンバレーのMountain Viewという街に住んでいます。関西学院大学在学中に他大学の仲間

ほんの少しの勇気の先に シリコンバレーでの今がある

問たちと起業し、現在はここで人工知能を開発する会社を経営しています。

初めてこの地を訪れたのは、3年生の時(休学中)に参加した大阪市の「シリコンバレー人材派遣プログラム」でした。それまでも学生チームでアプリを開発していましたが、GoogleやFacebookのストーリーを海の方こう、どこか違う

世界の話と捉えています。ですが、実際に訪れて、自動運転の車が街を走り、音声で家中をコントロールし、大勢の人がテクノロジを駆使し、より良い社会にしようと奮闘する姿を見て、「自分もやらないと気が付けば」夢中になっていました。帰国後すぐに大阪で会社を設立し、2016年に拠点をこちらに移しました。

「起業」海外で働くこ



↑シリコンバレーには世界的IT企業が集合

と「IT」どれも関連する知識は当時の私にはなく、予想していませんでした。全てはほんの少しの勇気を持つて踏み出すことで、私の目の前に現れました。勇気が出ない時、踏み出したが困難に陥った時は、私を含め世界中にいる関学OB・OGを頼ってください。関学が持つ世界中のOB・OGネットワークはとても素晴らしいものです。私も関学同窓会サンフランシスコ・シリコンバレー支部の方々に助けていただきました。もしこの記事を読んでサンフランシスコ、シリコンバレーに来られる方がいれば遠慮せずに連絡してください。次は私がある方をサポートする番です。もちろんその次はあなたが次の先輩をサポートする番です。「Mastery for Service」の精神で共に学び、世界に仕えましょう。皆さんにどこかでお会いできることを楽しみにしています。

協定校紹介

United States of America

サンノゼ州立大学 San Jose State University

米国カリフォルニア州にある1857年に創設の公立大学で、カリフォルニア州立大学機構の創設校です。学生数は3万2,700人。シリコンバレーの中心地の百万都市、サンノゼ市の大学として、工学、コンピューターサイエンス、商学等を学んだ多くの卒業生をシリコンバレーの優良企業に送り出しています。これらの分野に加えて、教育、芸術、音楽、ジャーナリズム、健康科学、社会福祉などの分野も優れています。

なお、同大学との協定締結に当たっては、関西学院大学同窓会サンフランシスコ・シリコンバレー前支部長の一木康市氏、現支部長の阿部真氏、会員で同大学の馬場よう子名誉教授などの熱い支援がありました。

※サンノゼと表記する場合があります。





大学図書館ホームページでは、WEBデータベースや図書館活用術など、幅広い情報を分かりやすく紹介しています。教職員の最新情報も随時更新。「関西学院大学図書館」で検索！

大学図書館の旬な情報をお届け

Libraring

西宮聖和キャンパス図書館の開館日時拡大!

2017年4月1日から西宮聖和キャンパス図書館の開館日数が増え、また開館時間も延びました。

ホームページもリニューアルし、西宮上ヶ原・西宮聖和・神戸三田キャンパスの情報が全てチェックできます。

大学図書館ホームページ
http://library.kwansei.ac.jp/



新コーナーも
できました!
ぜひ利用してね!

教職員の新刊

昭和文学の上海体験

大橋毅彦文学部教授著
勉誠出版

個別的労使関係と 人事労務管理

野瀬正治社会学部教授編著
晃洋書房

正当性の社会心理学

野波寛社会学部教授著
ナカニシヤ出版

株主と会社役員をめぐる 法的課題

近藤光男法学部教授著
有斐閣

イングランド法学の形成と展開

深尾裕造法学部教授著
関西学院大学出版会

経済学で考える社会保障制度

安岡匡也経済学部准教授著
中央経済社

東アジアの平和と和解

キリスト教・NGO・市民社会の役割
山本俊正商学部教授編著、関西学院大学
キリスト教と文化研究センター編
関西学院大学出版会

紛争下における 地方の自己統治と平和構築

林裕人間福祉学部助教著
ミネルヴァ書房

そのまま使える スペイン語フレーズブック

村上陽子人間福祉学部准教授著
IBCパブリッシング

オリゲネスの祈禱論

梶原直美教育学部准教授著
教文館

刑事司法改革と 刑事訴訟法学の課題

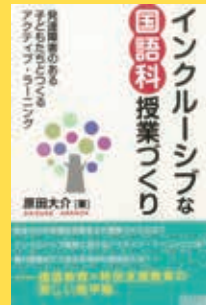
川崎英明司法研究科教授著
日本評論社

企業家精神のダイナミクス

佐藤善信経営戦略研究科教授著
関西学院大学出版会

インクルーシブな国語科授業づくり

この本は、教員を目指す学生さんや、国語科の授業づくりに悩む若手の先生方を考えながら作成しました。また、発達障害やインクルーシブ教育について、より深く学びたい大学院生さんや研究者の方々も想定しています。「インクルージョン」とは「包摂」のことであり、授業で言えば、「全ての子どもたちがよりよく参加できる授業」ということになります。楽しい授業づくりに向けて、本書が少しでもお役に立てば幸いです。



原田大介・教育学部准教授著 144ページ 明治図書出版



フランス魅せる美 美は人を幸福にする



異文化理解(フランス)という授業の講義録をベースにして、とにかくきれいな本を作りたいという思いから出来上がった本です。美しい絵画や風景の写真を楽しんでいるだけで、日本とフランスの美意識の違い、フランスを中心にした絵画の歴史、場末であったモンマルトルが美の対象となった理由等が、ずっと頭に入ってきます。「美は人を幸福にする」という副題が、本を眺めるだけで実感してもらえるでしょう。

水野尚・文学部教授著 146ページ 関西学院大学出版会



その後、11人が食事をしているとき、イエスが現れ、その不信仰とかたくなな心をおとがめになった。復活されたイエスを見た人々の言うことを、信じなかったからである。

マルコによる福音書 16章14節

今年のイースター(復活祭)は、4月16日ということもあつてか、3月ごろから日本のさまざまな所で「イースター・パーティー」が盛んと喧伝され、イースター・エッグやイースター・バニーといった象徴もさまざまな所で目にするようになった。しかし、本祝祭のキリスト教的な意味は取り上げられることは少なく、「春を迎えて希望を感じる」といった理解にとどまっているのが現実である。これは、「イエスの十字架上の死からの復活」という出来事が私たちの「常識」をはるかに超えており、容易に「理解する」ことのできないものであることを図らずも証していると言えよう。

ただ、今回の聖句で示された出来事を見る限り、生前のイエスと直接向き合い、言葉を交わした弟子たちも現代の私たちと同様で、イエスから「不信仰とかたくなな心」を批判されている。ここに、私たち、日頃慣れ親しんだ考え方や、経験に基づく物事の受け止め方に囚われ、本来の真理や本質を受け止めるための柔軟な心を失い、この世界を硬直的で、生き難いものとしてしまっている根源的な原因が隠されているのではないだろうか。

自らを尺度として絶対化し、そこに安住して良し、としようとする誘惑に対する峻厳な迫りと問いが、「死」という絶対的な「終わり」ですらそうではないとする、イースターの出来事が有する一つの意味ではないだろうか。

編集後記

企業説明会やOB訪問、エントリーシートの作成に面接など、初めての経験が多い就職活動は本当に大変だと思っ。リクルートスーツを着た学生を見ると、思わず心の中で応援してしまっ。焦ったり落ち込んだりすることもあるかもしれないが、少しでも良い準備をして、納得のいく就職活動にしてください！(りよ)

関西学院大学 Facebook



いいね!

関西学院大学の身近なニュース、キャンパス風景、動画などを紹介。英語版ページもますます充実。「いいね!」をして関西学院大学の情報をゲットしよう。



日本語版

英語版





完璧な演奏と、 心動かす演奏は、違う。

音楽は、ただ間違いなく演奏されればいい
というものではない。

その旋律に込められた、
作曲家の、そして演奏する人間の思い。

瞬間の音色の美しさと、メッセージ、
その両方に心を動かされるのだと思う。

それはまさに、高度な知の共鳴である。

私たちは、どこまでその領域に踏み込んでいけるだろう。

人の心に近づいてゆく挑戦を。

FUJI XEROX 